

# 造血幹細胞移植における短期メソトレキセート投与時のロイコボリンレスキューが毒性軽減に与える影響に関する研究

2006年から2015年までに日本医科大学付属病院血液内科で同種造血幹細胞移植を受けた患者さん

## 研究協力のお願い

当科では「造血幹細胞移植における短期メソトレキセート投与時のロイコボリンレスキューが毒性軽減に与える影響に関する研究」という研究を行います。この研究は、2006年1月から2015年12月の期間に日本医科大学付属病院血液内科で同種造血幹細胞移植を受けた患者さんの臨床情報を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

### (1) 研究の概要について

研究課題名:造血幹細胞移植における短期メソトレキセート投与時のロイコボリンレスキューが毒性軽減に与える影響に関する研究

研究期間:2017年3月10日(倫理委員会承認日)~2019年12月31日

研究責任者:日本医科大学付属病院 血液内科 平川 経晃

### (2) 研究の意義、目的について

同種造血幹細胞移植における短期メソトレキセート投与時に用いられるロイコボリンがその毒性軽減にどれだけ有用か明らかにする事を目的としています

### (3) 研究の方法について

2006年1月1日より2015年12月31日までに日本医科大学付属病院血液内科にて同種造血幹細胞移植を受けられた患者さんの生存率、血球の生着率、移植片対宿主病の発症率、口腔・消化管粘膜障害・肝障害・腎障害の出現率の解析を行い、短期メソトレキセート投与時に用いられるロイコボリンが、前記の副作用の改善に与える影響を後方視的に考察します。

### (4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針(文部科学省・厚生労働省)」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

### (5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

### (6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 血液内科 病院講師 平川 経晃

〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5

電話番号:03-3822-2131(代表) 内線:5606

メールアドレス:tsuneakih@nms.ac.jp